

江戸一年生



来て!見て!遊べる!浮世絵横丁
~あなたの知らないおもちゃ絵の世界~

来て！ 見て！ 遊べる！？

浮世絵横丁

～あなたの知らないおもちゃ絵の世界～

本日は、私たちが企画した展覧会「来て！見て！遊べる！浮世絵横丁 〜あなたの知らないおもちゃ絵の世界〜」にお越しいただき、誠にありがとうございます。

本展覧会は、中央大学教育力向上推進事業「浮世絵展示を活用したアクティブラーニング」（2016〜2018年度）の助成によるものです。第3回目の開催となります。

学部1年生から大学院修士2年生まで15名が、週1回、文学部提供課外プログラム「実践的浮世絵学」の授業で学んできました。その内容は、浮世絵の考証、展覧会のテーマの決定、浮世絵のキャプションの作成、チラシやパンフレットの作成、学内外への広報、浮世絵の額装、展示会場の設営、展覧会の運営など。極めて多岐にわたります。

本展覧会では、数ある浮世絵のジャンルの中から、おもちゃ絵を選びました。組み上げ絵、もの尽くし、双六の浮世絵を紹介しています。額に入ったおもちゃ絵を見ていただくだけでなく、趣向を凝らした遊びも味わっていただければと思います。

会場に展示した浮世絵は、平木浮世絵財団からお借りしたものです。本展覧会に対するご理解とご協力を賜りました佐藤光信理事長、並びに、浮世絵展示全般にわたって懇切丁寧にご指導いただきました森山悦乃学芸員と松村真佐子学芸員に、心より感謝申し上げます。平木浮世絵財団との橋渡しは、江戸の書籍や出版流通の研究を長らく続けてこられた本学文学部国文学専攻の鈴木俊幸教授に、その労を執っていただきました。鈴木先生にも、心より感謝申し上げます。

それでは、ご来場の皆様、展覧会会場にずらりと並んだ、まるで宝箱の中から出てきたようなおもちゃ絵をご覧になりながら、浮世絵横丁のひとつときをお楽しみください。

中央大学文学部教授 都筑学



浮世絵横丁巡双六

目次(頁)



(十六)



(十七)



(十八)



(十九)

第二章
ものづくし・絵解き
(十五)



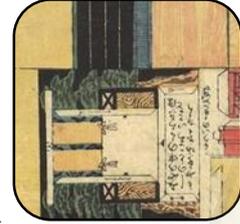
(十二)



(十二)



(十三)



(八)



(九)



(十)

第一章
細工もの
(七)

ごあいさつ
(三)

おもちゃ絵とは?
(六)

凡例

・キャプションの記載事項は以下の通り

No

キャッチコピー

題名

英題

絵師

版元

刊行年

- ・不明の事項は省略している。
- ・題や解説の旧字は適宜新字に改めている。
- ・掲載順は、展覧会の展示順とする。



(三十八)



(三十一)



(三十二)



(三十三)

第三章

すごろく (二十七)



(三十三)



(三十四)



(三十五)



(三十六)



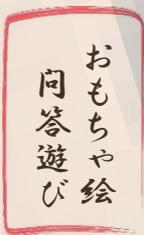
(三十七)



(三十八)



(三十九)



(三十四)

おもちゃ絵とは？

浮世絵と聞くと、敷居が高く、とっつきにくいイメージを持っていませんか？

おもちゃ絵とはその名の通り、江戸時代から明治時代にかけて特に子どもたちに向けて「おもちゃ」として出版された浮世絵です。

芝居のミニチュアや生き物図鑑、着せ替えに双六などなど、高級な絵画ではなく、あくまで「おもちゃ」だから、ほとんどが切ったり貼ったりして遊ばれたため、現存するものは多くありません。

カラフルでポップ、それでいてどこか懐かしい。そんなおもちゃ絵の世界から、私たちの知らない、新しい江戸・明治の生活が見えてくるかもしれません。

細工もの 組み上げ絵・着せ替え絵



今回の展示では、「細工もの」のおもちゃ絵として「組み上げ絵」、「着せ替え絵」、「鬢付け」の浮世絵を取り上げました。「組み上げ絵」は、一枚の錦絵のなかに描き込まれた人物や家屋などの部分品を切り抜いた後、糊で貼り合わせて台紙の上に芝居の舞台などを作り上げます。その面白さは、組み上げたときの効果的な遠近感や立体感で、一枚だけのものから三枚続きの大がかりなものまで及びます。江戸時代の後期か明治期にかけて盛んに作られ、作り手は限られた紙面の中に要領よく各部分を割り付ける発想力も必要でした。「着せ替え絵」や「鬢付け」は今の着せ替え人形にあたり、髪型カタログのように見て楽しんだり、役者の鬢を役柄に合うように替えて遊んだりされた浮世絵です。(宮川)

組み立てパズルの箱天神

しんぱんはこてんじん
新板箱天神

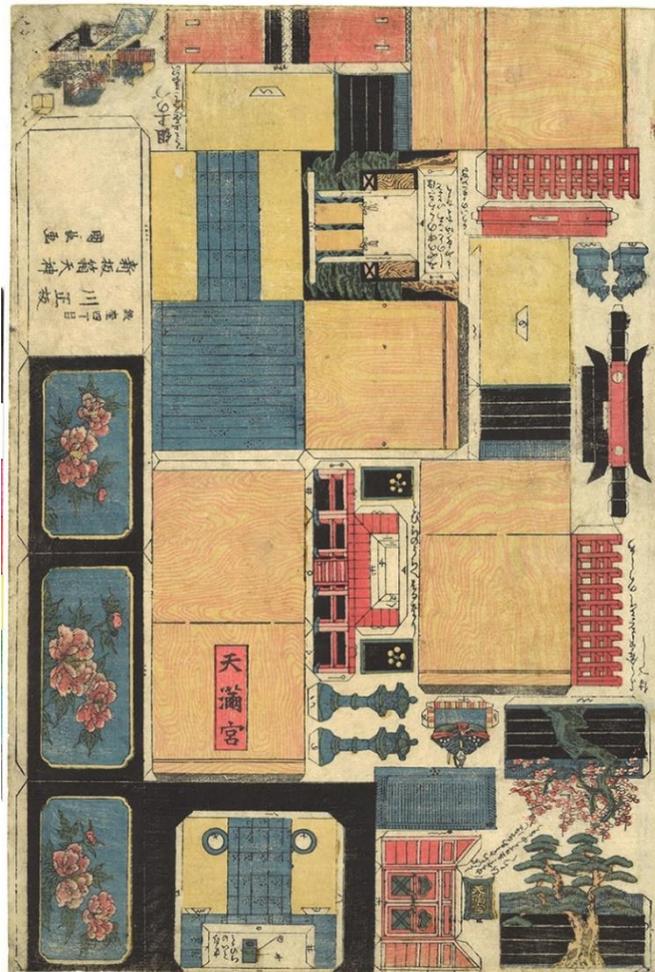
Newly published: Box of Tenman-gu shrine

絵 師 歌川国長
版 元 川口屋正蔵
刊行年 不詳

歌川国長は初代歌川豊国の門人であり、切り抜いて組み合わせや細工をする切組絵を得意とした。この作品はそのうちの一つである。

組み上げると箱型の天満宮が出来上がり、菅原道真と思われる人物の人形も付属している。組み上げ方の説明が各所に書かれており、絵の端には完成のイメージ図、組み上げのヒントとなる箱の絵がある。この少ないヒントで、あなたならどう組み上げる…？
(宮川)

(組み上げ完成図 p.33)



たくさん目！その訳は…！？

しんばんひやくまなこはやがえ
新板百眼子早替

Newly published: One hundred
expressions of eyes changed quickly

絵 師 歌川芳鶴

版 元 不詳

刊行年 天保～嘉永（1831～1855）頃

通りものの目、勇の目、よこ目、大人の目、とび出た目、なまえいの目…男の頭上に並んだ半分の顔はそれぞれに違った表情をした目をもっている。さて、これらの顔を見て何かお気づきにならないだろうか。そう、男の頭には、眉や目など顔の上半分が描かれた仮面がついているのだ。これは目鬘と呼ばれる仮面で、三笑亭可上の「百眼」という寄席芸で使われた。見ると、ちょうど男は寄席芸を披露している様子だ。この演目は当時大人気のものであったので、この浮世絵のように折って目鬘を入れ替えて遊ぶようなおもちゃ絵が考えられたのであろう。何とも絶妙でユニークな表情の目を眺めながら、江戸に思い馳せたい作品である。
(望月)



この絵はどうやって遊ぶの！？

どうせんきょうあたるすがた え
投扇興当姿絵

Picture of throwing fan

絵師 二代歌川国貞

版元 麴金鱗堂

刊行年 万延元年（1860）

題にある「投扇興」とは、右下にかかっている「蝶」と呼ばれる的に向かって扇を投げ、得点を競う遊びだ。この浮世絵を扇型に切り取り、扇に貼って遊んでいたと推測できる。又、扇に描かれている顔は四代目中村芝翫の当たり役であり、扇を開いたり閉じたりするときに、それぞれの顔の芝翫を楽しめるようになっている。このことにより、おもちゃ絵といっても子どもだけでなく、大人も楽しんでいたということがわかるだろう。（二村）

（扇完成図 p.33）



月下に轟く才色兼備

やすまさげっかろうてきのず
保昌月下弄笛之図

Yasumasa play the flute under the moon

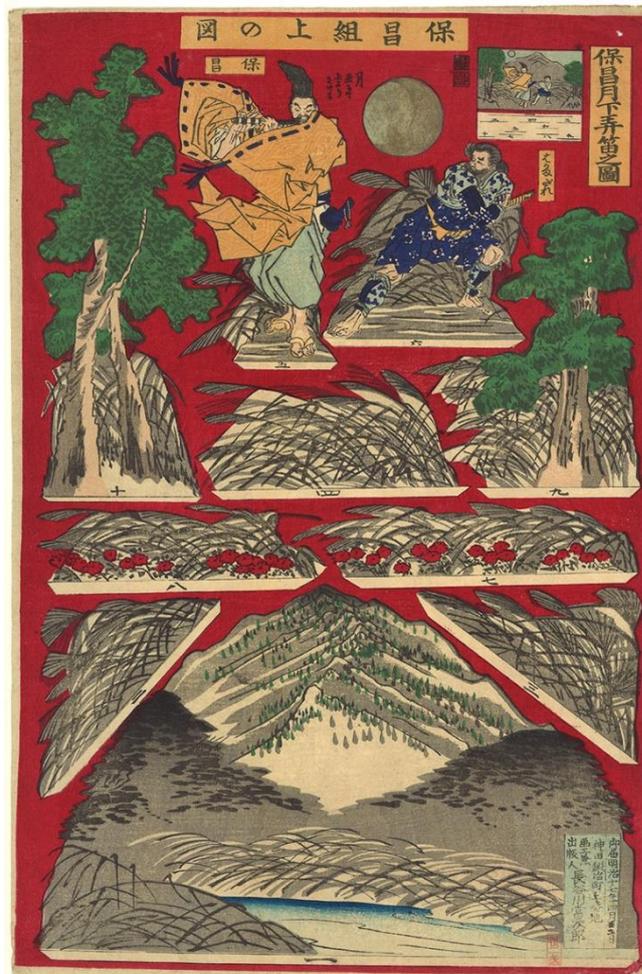
絵 師 不詳

版 元 長谷川常次郎

刊行年 明治17年 (1884)

この浮世絵は、『今昔物語集』巻第二十五に収められている藤原保昌と盗賊袴垂との邂逅を描いたおもちゃ絵である。浮世絵を切り貼りすることで、絵として完成するようになっている。藤原保昌は平安時代の武士である。『今昔物語集』の中では袴垂を自宅まで呼び寄せ着物を与える傑物として描かれている。しかし、歴史学者である野口実の研究によれば、国司として赴任した保昌の徴税は厳しいものであり、僧百余人が都まで群参して保昌を訴えることもあったという。(栗原)

(組み上げ完成図 p.33)



立版古一空間から平面へー

くみあげさんまいづき ひでさとむかでをいるず
 組上げ三枚続 秀郷蜈蚣ヲ射ル図
 Hidesato shoot ghost

絵 師 歌川芳藤
 版 元 牧金之助
 刊行年 明治25年（1892）

藤原秀郷は平安時代に活躍した武士で、関東で反乱を起こした平将門を討ち取った人物として知られている。この絵は彼が近江国瀬田の唐橋において山を7巻以上する大蜈蚣（むかで）を弓で退治した逸話を描いたものである。

作者の芳藤は「おもちゃ絵芳藤」と呼ばれるほどの優れた腕前でおもちゃ絵を多く発表した。子どもが遊ぶという特性上残っている作品はそう多くない。（峯岸）

（組み上げ完成図 p.33）





ここではものづくり・絵解きについてご紹介します。ものづくりとは今でいう「図鑑」のことで、一枚の紙に動物や魚がところ狭しと並んでいます。当時生息していた動物を知ることのできる、貴重な資料でもあります。「絵解き」とは絵に文字で説明を付け加えたものをいい、絵の解説をしています。当時の人々の生活を鮮やかに描いていますが、中には擬人化した動物が、どちらもコミカルなタッチで、子ども向けの絵と思いきや、内容は大人向け。昔の人の風習や生活に思いをはせて、おもちゃ絵の魅力にどっぷりとつかってください。（新山）

さあ、動物について勉強しよう！

しん板^{ばん}けものづくし

Newly published: Animal world

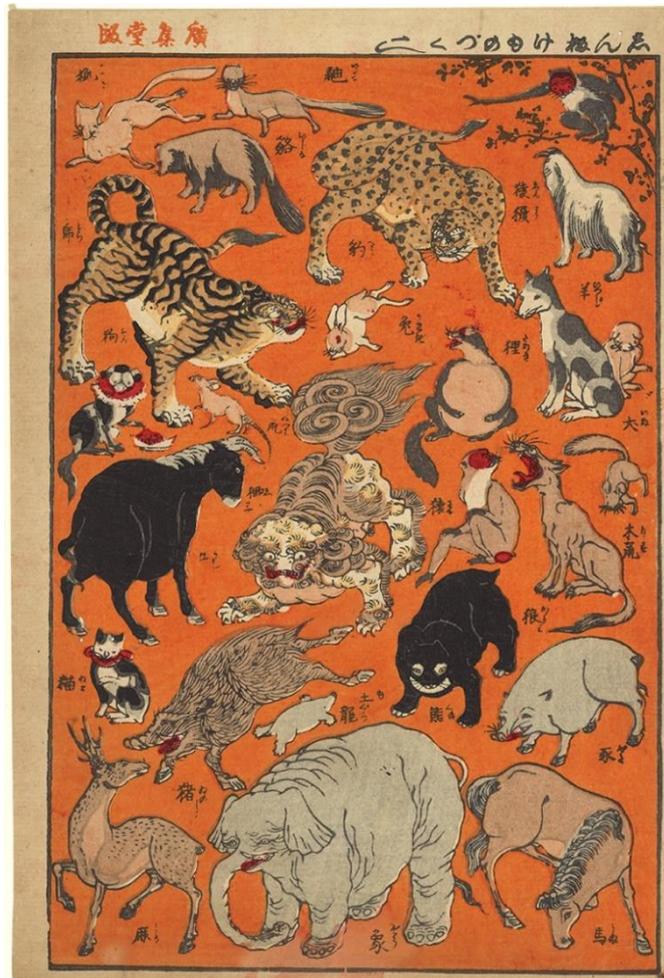
絵 師 不詳

版 元 広集堂

刊行年 明治期 (1867~1912)

24種類の動物が描かれている。猿猴・羊・犬・木鼠・狼・豚・馬・豹・兎・狸・猿・獅子・熊・猪・土龍・象・鼬・狐・貉・虎・狢・鼠・牛・猫・鹿。伝説上の生き物が2匹いるが、果たして分かるか。

最下段には象。八代将軍吉宗の命で、ベトナムから雌雄の象が長崎に到来したのは、享保13 (1728) 年。吉宗も江戸城で雄の象を見たそうだ。文久3 (1863) 年に、アメリカ船が運び込んだ象は、両国西詰の見世物小屋で大評判になったという。(都筑)



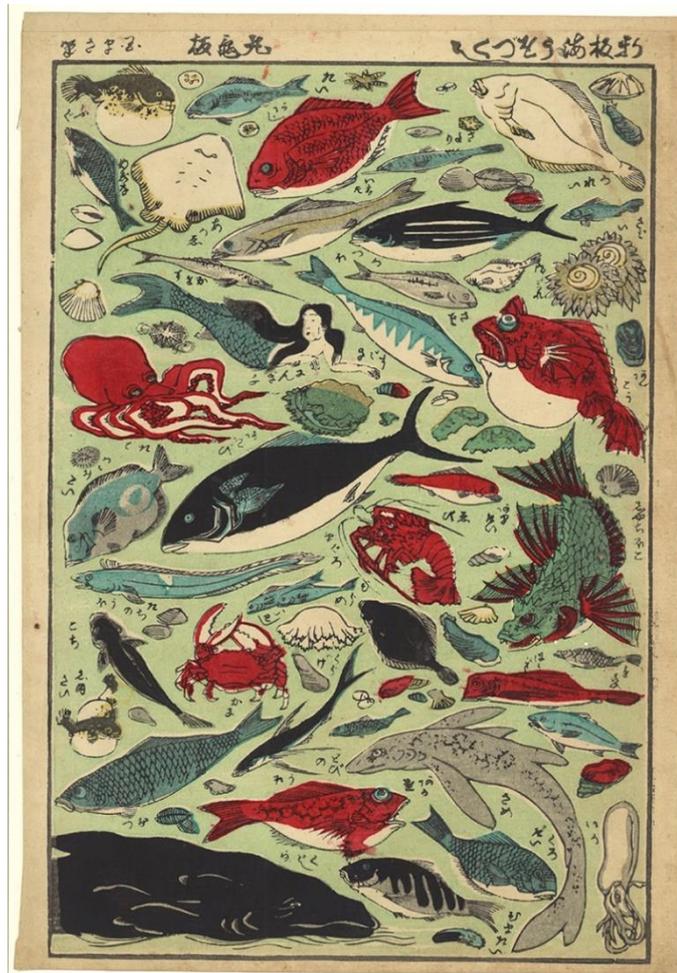
魚魚魚ッ！おさかな大集合！

しんぱんうみ
新板海うをづくし
Newly published: Fish picture book

絵 師 四代目歌川国政
版 元 深瀬亀次郎
刊行年 明治期 (1867~1912)

どこを見ても魚だらけなのがこの絵の特徴。「うをづくし」は数ある魚を一つにまとめたものである。現代の言葉で言い換えれば、昔版魚図鑑とでも言えようか。ところ狭しと描かれた中には、貝やクラゲも登場。一匹一匹鮮やかな着色がされており、見る人を飽きさせないような仕掛けも。

あれ、よく見ると伝説の動物が…!?何度見ても飽きないこの絵をぜひご堪能あれ！
(新山)



みちざね様がいっぱい！

しんばんかんげそんえいづくし
新板菅家尊影尽

Newly published: Collection of Sugawara
Michizane

絵師 歌川貞房

版元 江崎屋辰蔵

刊行年 天保14年～弘化4年
(1843～1847)

子どもの教育に熱心だった江戸時代、学問の神として厚い信仰を得ていた菅原道真を題材にしたおもちゃ絵は多数存在した。この絵はカードのように切って遊ぶカルタ絵の形式で描かれたものである。牛に乗る姿や歌を詠む姿等々、道真の逸話伝説に基づいた絵が集まっている。また、当時「道真と言えば梅」という認識があったことから梅紋や梅の花が随所に見られるのもこの絵の特長だと言えらるだろう。貴方はどの道真様がお好みだろうか。(榎本)



少女雑誌の付録のような

あね様^{さま}尽^{つき}／植木^{うえき}つくし／新板^{しんばん}猫^{ねこ}のたわむれ
Collection of beauties／Collection of pot
plants／Newly published: Play of cat

絵 師 歌川国利
版 元 北島玄仙
刊行年 明治12年（1879）

四つの物尽くしがお得な一枚。花に猫に女性と、美しいもの、かわいいものが並んでいる。

本展覧会中、猫の擬人化は多いが、雄猫がないのは珍しい。画面は完全に女の世界になるよう構成されている。ひょっとすると女の子向けなのかもしれない。

植木には日本に古くからある花が並んでおり、西洋の物はまだ見えない。それは女性も雌猫も同様で、明治十年の少女が眺めた世界が、どれだけ江戸と地続きなものであったかを教えてくれる。（小野寺）



猫版・『東海道中膝栗毛』

しん板猫の弥次喜太

Tokaidochu Hizakurige by cat

絵師 不詳

版元 深瀬亀治郎

刊行年 明治期 (1867~1912)

正確な刊行年は不明だが、版元の活動期が明治のため刊行年も明治期と考えられる。「猫の弥次喜太」と題にあるように、二匹の猫が『東海道中膝栗毛』の主人公・弥次郎兵衛と喜太八に扮している。コマ割りのような構図で、横並び数コマで一場面となっている。江戸後期の作品のパロディだが、いかに民間で弥次・喜太コンビが親しまれていたかが伺える。

旅先で周囲を騒ぎに巻き込む様は『東海道中膝栗毛』そのもので、猫の姿でもってまた旅へ励もうといったところだろうか。

(松尾)



幸せいっぱい!?猫の新婚ライフ

しん^{ばん}板ねこのよめいり

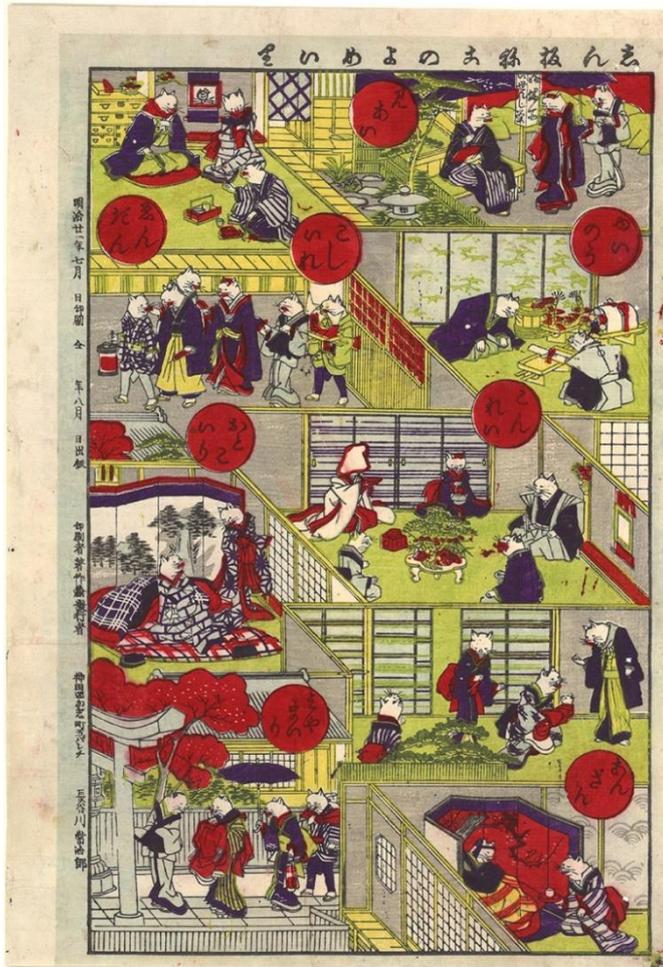
Newly published: Marriage of cat

絵 師 不詳

版 元 長谷川常治郎

刊行年 明治21年 (1888)

「見あい」から「あんざん」や「みやま
いり」まで猫夫婦の出会いと結婚、出産が
描かれている。明治時代の結婚は、江戸時
代と同じく自宅で行われるのが一般的だっ
た。作品中の「こんれい」の場面中央には、
江戸時代の武家の婚礼で用いられた「蓬菜
台」という飾りつけが見られ、明治期にも
江戸文化が色濃く受け継がれていることが
うかがえる。また、猫たちが大真面目に礼
法に則って格式ばった儀式をしている様子
は滑稽で可愛らしい。 (齋藤)



私たち一生懸命に勉強しています

しん板猫の勉強学校

Newly published: Elementary school of cat

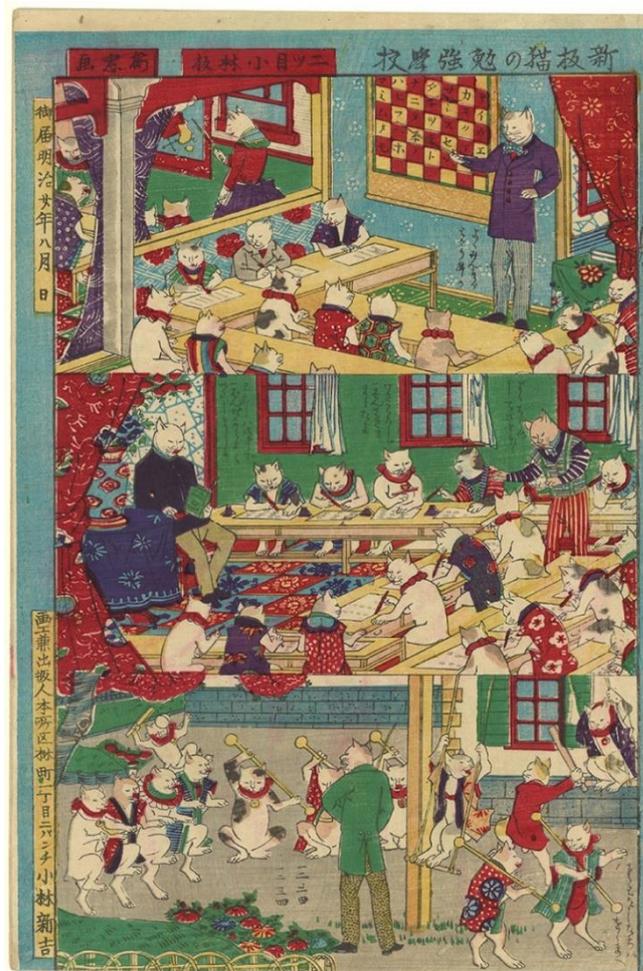
絵師 梅窓

版元 小林新吉

刊行年 明治20年（1887）

わが国の近代学校制度の始まりは明治5（1872）年。学制発布により、各地に小学校が作られた。と言っても、国からの援助はなく、保護者や地域住民が自前で学校を建てたのである。教育熱心な大人たちに見守られながら、子どもは学校で大いに学んだ。

教壇の上に立つ先生が一斉授業をしている様子は、今と変わらない。「一二三四」の掛け声をかけながらの体操は、ちょっとした息抜きだったのかもしれない。最下段の二人は、「もうわたしたちはおしまい」と言っている。（都筑）



みんなでワイワイ！今日は遊び日和

しんぱんちんかめねこ^つし

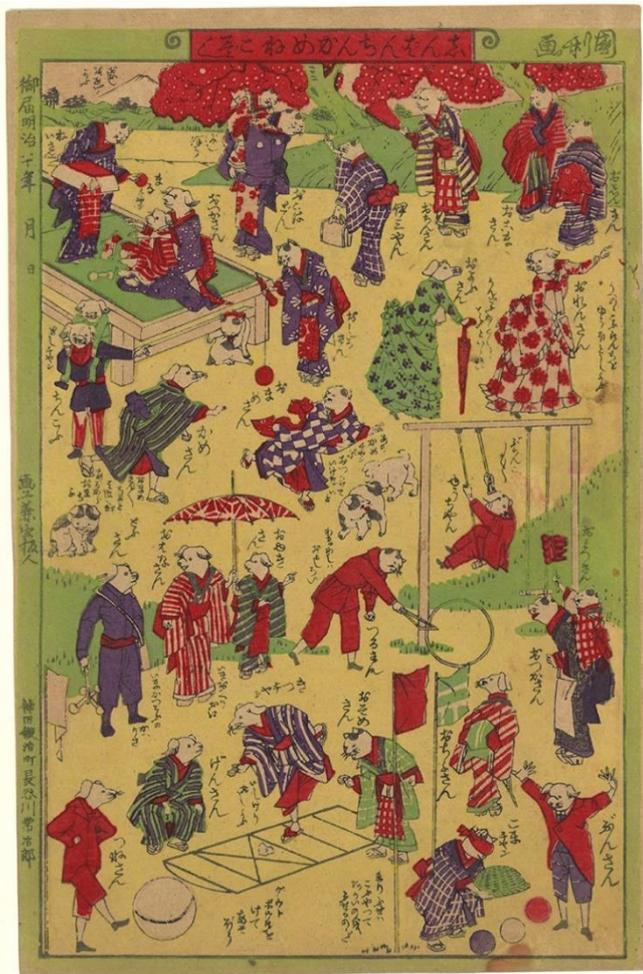
Newly published: Children's play of dog and cat
cat

絵 師 歌川国利
版 元 長谷川常治郎
刊行年 明治20年（1887年）頃

この作品は明治の子供遊びを犬と猫の擬人化により紹介している。よく見ると犬は和装と洋装の両方を纏っている。題名の「狎（ちん）」は日本原産の犬種で江戸時代の犬の呼称であり、「カメ」は西洋人が飼い犬を呼ぶ時に「Come here!」と言ったのを「カメ（犬）+や（呼びかけ）」と理解したことから西洋犬を指す。

犬猫に親子関係があったり、「伊三やん」「おはなさん」「としちゃん」など個性的な名前がついていたりするのも楽しい。

（橘田）



猫まみれの乗物図鑑、待望の新版

しん板くるまづくし

Newly published : Exhaustive collection of cars

絵 師 不詳

版 元 坂井金三郎

刊行年 明治26年 (1893)

猫を擬人化して描かれた、明治期の乗り物を列挙した物づくし。蒸気車・ねこの肩のり・手車・自転車・蒸気ポンプ・鉄道馬車・人力車といった、明治期になってから開発された乗り物を知ることが出来る。中には現在でも使われている乗り物もあるが、そのほとんどが現在では使われていない。鮮やかな赤や紫といった、明治期に入ってから使われるようになった顔料も用いられており、江戸期の浮世絵とはまた違った風情が感じられる。(小島)

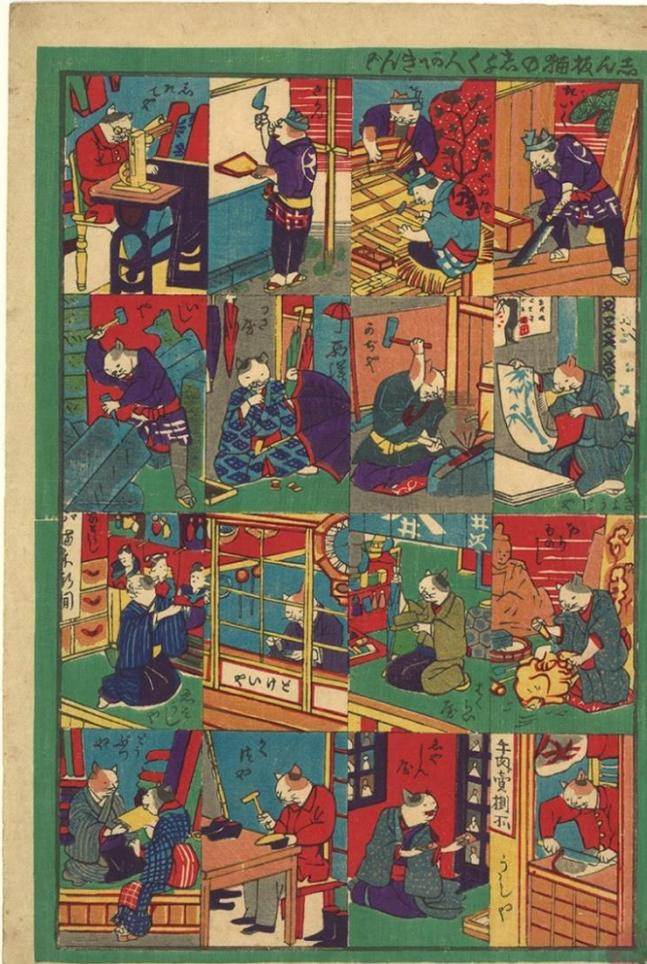


猫の手 貸します 働く猫たち大活躍

しん板猫のしよく人あきんど
Newly published: Craftsmen and
marchants of cat

絵 師 不詳
版 元 不詳
刊行年 明治10~20年 (1877~1887) 頃

江戸から明治。文明開化の時代。諸外国から新しいものが入って来た。猫の世界もまた然り。働く猫たちの姿には、古きものも、新しきものも、入り交じっている。よくよく見れば、ズボンに上着の猫も。それから、時計屋、靴屋、写真屋。江戸にはなかった新しい仕事もある。さらに目を凝らせば、ミシンや洋傘も。どれもこれも魅力的な仕事ばかり。働く猫たちは、子どもたちの将来のキャリア選択を考える恰好の素材であったにちがいない。(都筑)



またたび湯へようこそ！ いい湯だにゃ～

しんばんねこ おんせん
新板猫の温泉

Newly published : Spa of cat

絵 師 歌川芳藤

版 元 尾関トヨ

刊行年 明治21年 (1888)

本作は「おもちゃ芳藤」と呼ばれ人気が高かった絵師、歌川芳藤による作品である。

一匹だけ服を着ている猫は、背中を流したり髪を洗ってくれる「三助」と呼ばれる従業員。

洗い場から浴槽を区切る板は柘榴口（ざくろぐち）と呼ばれ、本作では鶴をあしらった華やかに描かれている。

明治期に海外から輸入された新しい赤や紫色を多用し、猫の擬人化を用いて江戸・明治期の庶民生活をポップに表現した一枚である。
(田村)



すごろく

雙録
寿七六
Sugoroku
寿子六
雙陸
寿子禄
数古六
壽吾陸
すご六

双六
寿語録
雙禄
Cygoroku



今回の展示作品のような形の双六を「絵双六」といいます。江戸時代に流行し、「盤双六」と区別してこのように言います。

絵双六の先祖は仏法の教えを説いたり、浄土に上がることを目的とした遊戯だったと言われていいます。江戸時代に入ってその主題は様々なものに置き換えられていきました。それを豊かな形で支え、実現したのは印刷技術、浮世絵の文化です。

主題は出世や旅に関わるものから、生活や道徳、物の分類。そして歌舞伎などの娯楽や駄洒落まで多岐に渡ります。江戸の人々が親しんだものや憧れたもの、学んでおきたいものなどが精選されて、遊べるようなビジュアルに再構成されたもの。そんな楽しい玉手箱のようなおもちゃ絵が、双六ではないでしょうか。（小野寺）

善 道 中 出 世 壽 古 六

一勇齋國芳画 春風亭柳枝案



板元芝神明前 和泉屋市兵衛

人生山あり谷あり “休み” あり？

ぜんあくどうちゆうしゅっせすごろく
善悪道中出世寿古六

Sugoroku game of career advancement

絵 師 歌川国芳

版 元 和泉屋市兵衛

刊行年 安政2年（1855）

画面中央下に人の心の善悪を擬人化したキャラクター、善玉悪玉が相撲を取っている。このマスがふり出し、即ちスタート地点である。各マスに賽の目による移動先が示され、振った賽の目によって飛び移る、いわゆる飛び双六である。移動を繰り返し、画面中央上の狐拳が描かれたマス、「国恩山子孫繁昌の峰」で上がりとなる。この双六には当時の儒教的価値観が現れており、子供達は遊びつつ学ぶことも出来る。各マスの人物達が可愛らしい。（榎本）

歸秋の男と女



辿り着けないマスもある

おどりけいようみたてすごろく
踊り形見立寿語六

Sugoroku game of Kabuki actor

絵 師 三代目歌川豊国

版 元 辻岡屋文助

刊行年 安政2年(1855)

安政2年頃の歌舞伎役者の当たり役を、絵双六のマスに配した一枚。双六の中でも「飛び双六」と言って、賽の目次第で指定されたマスに飛んでいくというもの。画面にはゲームの流れが視覚化される仕組みができており、上の段に向かうほど「上り」へ繋がる〔準上り〕マス、さらにその〔準上り〕マスに飛べる〔準々上り〕マスへの収束率が高くなる。自分のコマが上段に飛ばされるほど、興奮できる仕様なのだ。
(小野寺)

※ 〔 〕内は便宜上の造語。

おもちゃ絵問答遊び 答え	
1. 猿猴、獅子(右上、真ん中)	
2. 人魚	
3. ②コッホ	
4. 鯉やかな赤が使われるようになった	
5. 当時のそば一杯分	

恥を捨てても盛り上げろ

しんばんざしきげい
新板座敷芸

Newly published: Party stunt

絵師 歌川貞虎

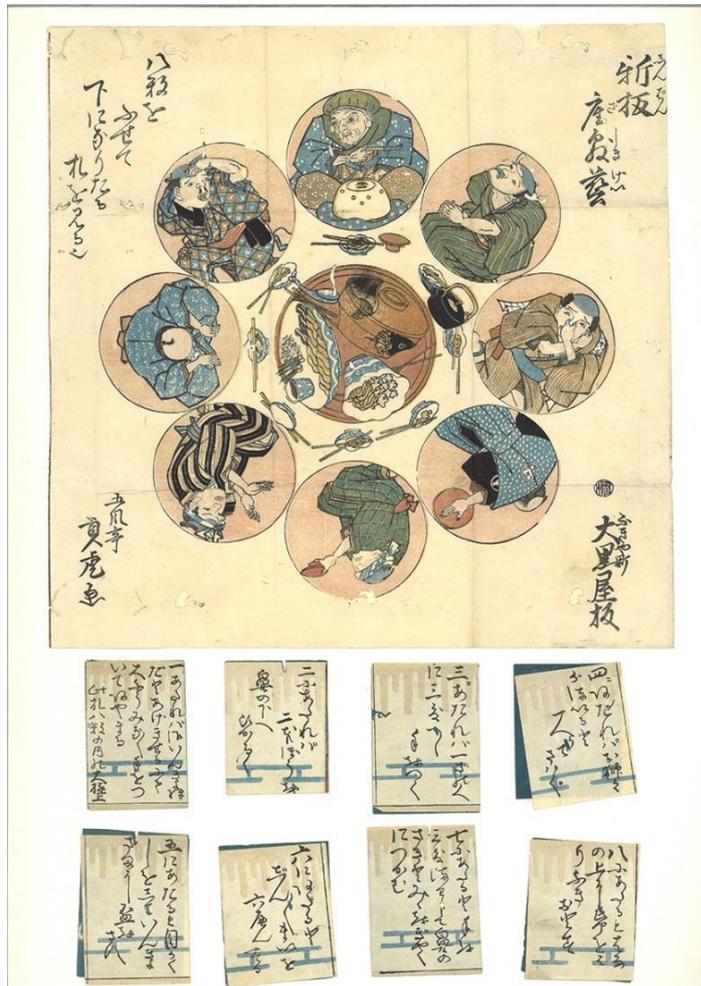
版元 大黒屋

刊行年 不詳

歌川貞虎(号:五風亭)は文政～天保期に活躍した絵師で、花鳥画、美人画、役者絵、合巻挿絵など幅広い作品を描いた。この絵は宴会の場で行う座敷芸で実際に遊ばれた絵である。札となる部分を切って使ったようで、遊び方には「八枚をふせて下になりたる札を見る也」とある。切り分けられた札を山札にして一枚取り、書かれた文言を絵を見本に実行する、という遊びのようだ。ゲームもスマホもない時代、こうした遊びはさぞかし場を盛り上げたことだろう。

(難波江)

- 札
- 一 当たれば御隠居様だと上げ煙管にて大風。
皆々手をついて謝る 此札八枚の間の大極上
 - 二 に当たれば、二本棒を鼻の下へひかるる
 - 三 に当たれば、一座の人に三度ずつ手をつく
 - 四 に当たれば、お獅子が参ると一人で騒ぐ
 - 五 に当たると、目隠しをして隠居様に盃を差す
 - 六 に当たると、じんじんまいを六遍する
 - 七 に当たると、手を三度回して鼻の先と耳を逆につかむ
 - 八 に当たると、鼻の上に紙を貼り、吹き落とす

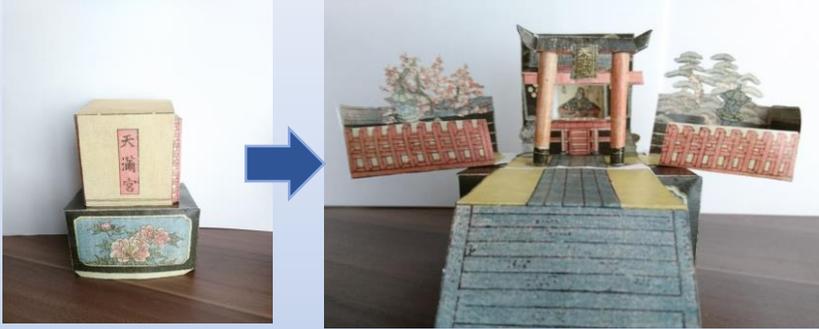




組み上げ絵

写真館

①新板箱天神



④投扇興当姿絵



⑤保昌月下弄笛之図



⑥秀郷蜈蚣ヲ射ル図

おもちゃ絵問答遊び

1. 7番の浮世絵のなかで当時日本にいなかった動物はどれでしょう？二匹います！
2. 8番の浮世絵のなかで伝説のものがいます。それはどれでしょう？
3. 浮世絵に影響されたヨーロッパの画家は以下のうちどれでしょう？
①ピカソ ②ゴッホ ③レオナルドダヴィンチ
4. 江戸時代と明治時代の浮世絵の大きな違いはなんでしょう？
5. 浮世絵は当時どれくらいの値段だったでしょう？

答えは31ページ！



2018年度 中央大学教育力向上推進事業 実践的浮世絵学

来て！見て！遊べる！？浮世絵横丁～あなたの知らないおもちゃ絵の世界～

会期：2019年1月29日（火）～ 2月4日（月）

会場：中央大学 文学部棟 3105教室（第一会場）・ 3104教室（第二会場）

主催：中央大学文学部

協力：公益財団法人平木浮世絵財団 講師：森山悦乃 松村真佐子

担当教授：都筑学

受講生：飯塚瑞乃 榎本芙巳 小野寺貴之 橘田彩 栗原隼人 小島かりん

齋藤綾音 田村夏未 難波江春凧 新山泰地 二村茜 松尾百合子

峯岸優太 宮川珠花 望月柚花

おもちゃなんて、子どもの遊びだと思ってた。

やるんです。やるしかないんです。思い立って早100年。私たち新伊国屋は創業以来、おもちゃだけを丹念に、ていねいに作り続けてきました。戊辰戦争、明治維新によるストライキ等様々な苦難を超え、私たちは努力を惜しみませんでした。モノづくりに愚直に、誠実に。お待たせしました。ついに復活です。



ついに復活

!?

定価 59銭 (税込み)

